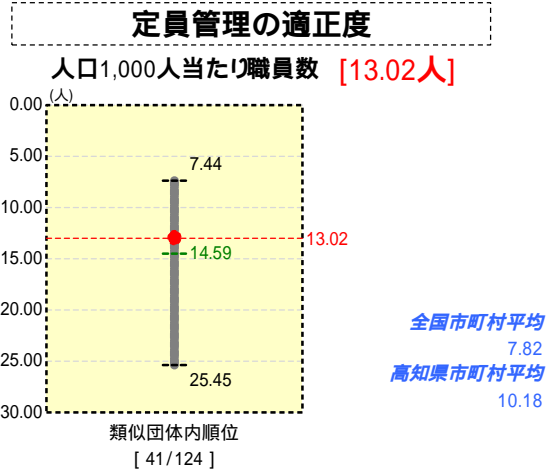
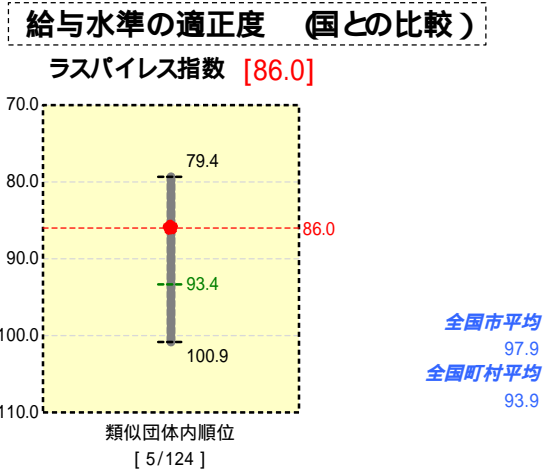
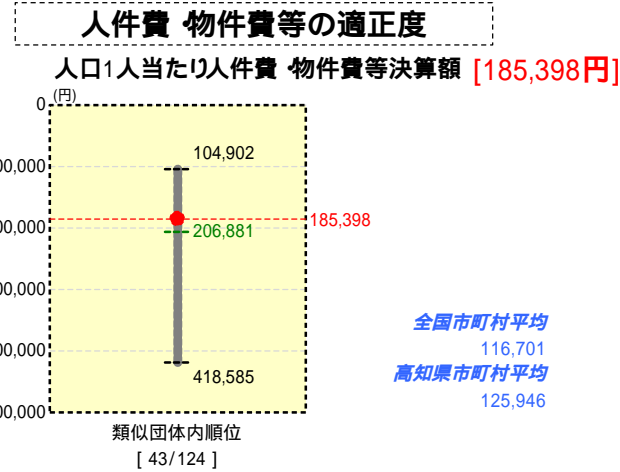
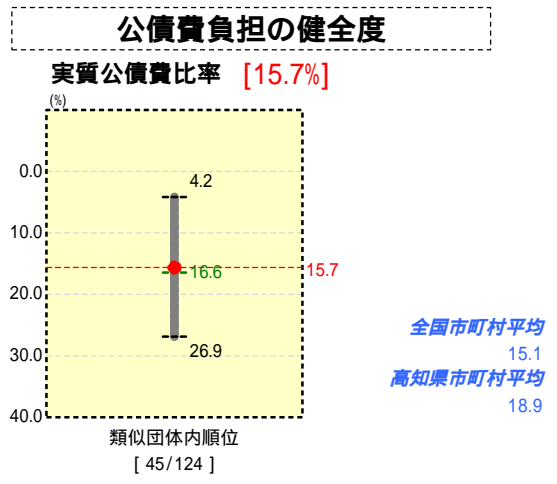
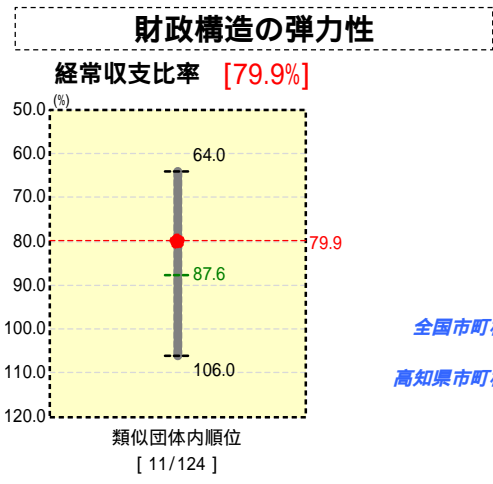
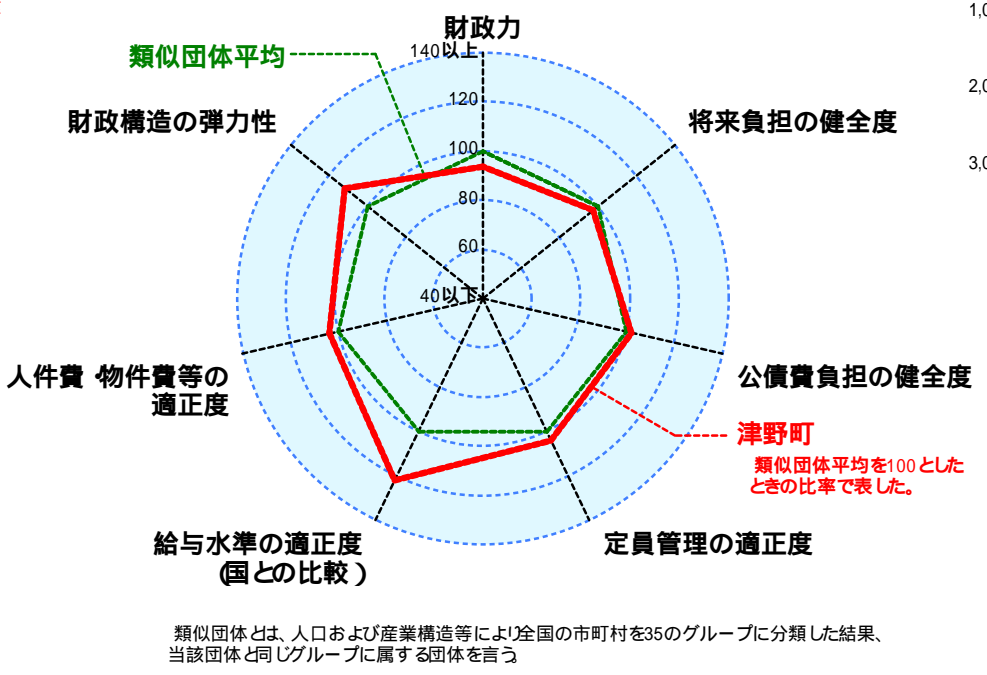
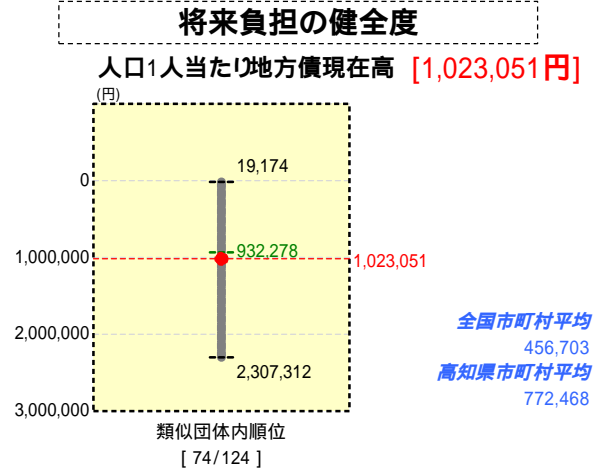
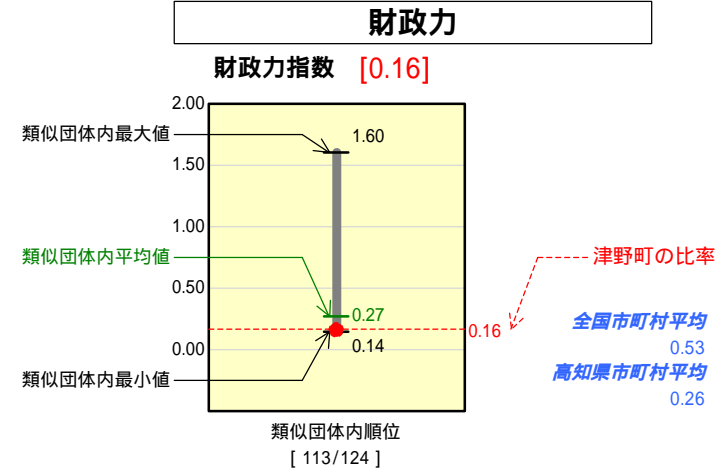


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

高知県 津野町

人口	7,066	人(H19.3.31現在)
面積	197.98	km ²
歳入総額	6,491,008	千円
歳出総額	6,402,703	千円
実質収支	88,305	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
津野町は高知県の中西部に位置し昭和35年に13,249人いた人口が平成17年には6,862人と45年間で約半分となった典型的な過疎地域で大型事業所もなく自主財源の乏しい状況が続いている。このため平成17年2月1日に市町村合併をし退職者不補充、公債費の繰上償還を行い財政の健全化に努める。

【経常収支比率】
市町村合併時の平成16年度は90.5と類似団体より若干オーバーしていたが、退職勧奨及び不補充、公債費の繰上償還により平成18年度は79.9と類似団体より低くなっている。今後においても退職不補充、公債費の繰上償還により75以下に抑えるよう財政の健全化に努める。

【実質公債費比率】
市町村合併以後の平成17年度、平成18年度に約12億円の繰上償還を行い、平成17年度が16.3、平成18年度が15.7と抑制しており平成18年度単年度は13.1と健全エリアまで抑制することができた。今後においても地方債の抑制や繰上償還により14.0以下に抑制に努める。

【人口1人当たり地方債残高】
類似団体の平均よりは若干オーバーしているが、平成17年度、18年度に約12億円の繰上償還を行い平成16年度末に87億円あった残高が平成18年度末には72億円となっている。今後においても繰上償還、地方債発行の抑制、普通交付税算入率の高い有利な起債に厳選し財政健全化に努める。

【ラスパイレース指数】
類似団体の平均が93.4で津野町が86.0と類似団体より7.4ポイント低い状況である。今後においても給与水準の適正化を継続していく。

【人口1,000人当たり職員数】
平成17年2月1日の市町村合併以来、退職勧奨、最小限の採用により職員数を削減した結果、類似団体より若干低く抑えることができている。今後においても組織機構の見直しによりさらに職員数の削減に努める。

【人口1人当たり人件費 物件費等決算額】
類似団体の平均が206,881円で津野町が185,398円と類似団体の平均よりは若干低く抑えることができている。今後においても組織機構の見直しにより職員数の削減や事務の効率化に努める。